THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻 第二十四號

大正六年十月十五日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□金の遣ひ方……小橋三四子
□時事週評……
□天才の家系……井上文學博士
□應接間の五分間「海老名みや子夫人」……記者
□女の先生の印象「愛日小學校」K子
□婦人の依賴心……服部他助
□いろいろの社會「玩具人形の生れくる世界」
……民子
□人生のどん底から起き返った林たか子女史……I子
□兒童と貯金
▽親の爲すべき事……土川五郎
▽無駄の無い家庭生活が手本……淺田みか子
▽家庭教育の不備を補ふ爲に……高橋鐵藏
▽獨立心養成の爲に……ミス、クライン
□手拭地の夏布團……清子
□昨今の果物の貯へ方……英洋人コツク
□子供の智慧……
□オハナシ「自然兒」……琴子
□不思議な泉……
□世界の子守唄―スコツトランド、イタリー
□新藝術突物語「曆と天氣豫報」近藤浩一路
□小說雜草……茅野雅子
□新刊紹介……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵稅料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

家庭必備の最良書

文學博士佐々木信綱先生 渥美雅子共著

新撰女子用文

文部省御認定各女學校参考用として御採用
――用文書中最も完全なるもの

和装頗る美本
定價金四拾錢
送料六錢

歌道普及會編――付新年詠進歌心得 親切叮嚀に說明す

和歌作りやう

歌に入る最も近道――恰も手を把りて教ふる如く平易簡明親切叮嚀に和歌の作りやうを述べてあり初學者の良師友

布製箱入美本
定價金七十五錢
送料八錢

家庭お伽會編――面白いお伽ばなし――

少年少女 新お伽全集

ポケット入美本
定價金卅五錢
送料八錢

兒童に快感を與へ同時に教訓幷に智識を注入する目的にて著作せしもの故面白くためになる好讀物

發兌 東京人形町通 東盛堂
振替東京七五〇六番
電話浪花二一四四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金錢の遣ひ方

兒童と貯金の問題に就て

□諸家の意見の要點

前號掲載薄田斬雲氏の兒童と貯金の問題は、學校及び家庭に於て、敎育上注意すべき問題に就き、本誌は特に兒童敎育に留意しつゝ實驗を積まるゝ敎師方や母たる方の御意見を伺つて見ました。諸家のお說を綜合すれば、貯金は家庭で爲すべきが本位であつて、學校は家庭の不備を補ふ意味で奬勵するといふのにありますが、クライン女史が亞米利加の風習から云へば、兒童の獨立心を養ふ爲めに大膽に貯金の必要を說かれるが、國情を異にする日本に於ては、或は弊害を生じはせぬかと危み、土川校長、淺田夫人等は、勤儉の思想は強ち金錢上のみには限らぬ、學校用品の遣ひ方からも敎へられやうし、家庭の日常生活から手本を示す事も出來る。金錢は寧ろ兒童に與へて、害多くして益尠きものだと語つて居られます。

□遣ひ方を敎へるが急務

何故に日本の兒童は、金錢を持たせる事に就て弊害が多いかとは、私の常に考へて居つた處でございます。薄田氏が說かれた場合の如く、敎師が無邪氣な兒童に、多勢の前で、貯金をして居らぬとて、耻をかゝすやうな奬めやうをする事は、沒常識の至りでありませうが、今後の兒童敎育上には、金錢の單に卑しむべきものでない事を敎へ、幼兒から之れを取扱ふ場合の態度を經驗させる事が大切だと思はれます。士の子は錢勘定するものではないとか、武士は食はねど高楊子だとかいふ思想は、稍もすれば金錢を持てば心迄が土塊の如く化し去るやうに考へ手にあるものは、一時に早く散亂して終ふ潔癖から、明日の用意の無い生活を營み、或は金錢を手にすれば忽ち酒食に溺れて之れを浪費する事を怪しまない人々があります、他方に於て金錢を握つて離さぬ人は、算盤計りを彈いて、金を命よりも事業よりも大切なものとして之れに仕へる守錢奴が出來ます。何れにしても金を持つ事は、墮落の第一歩となつて居るのであります。私は自らの疑問に答へて、今後の日本人には、金錢の遣ひ方を敎へるのが、最も急務であると思はれます。兒童にも出來る家庭では小遣ひ錢を與へて、之れを遣ふ方法を指導する事が大切であらうと思はれます。

□精神上の快樂を購ふ事

兒童が金錢を手にして、一錢持てば、一錢の主人となり、十錢を得、一圓を貯へれば、之れに相應した精神を持つ事を敎へたいものであります。外國の心ある家庭に育つ兒童は、其の小遣ひ帳には、豫算の內に必ず寄附金の項目が設けてあるさうであります。我が浪費を省いた金錢を貯蓄して、金高のみを殖やし、之れを以て菓子や玩具や、餘計な學校用具を買ふ費に充てやうとする快樂を轉じて、人を喜ばせ、他人の爲めに盡して、精神上の高潔な喜びを求める經驗を與へるのであります。貯金をする事は、やがて之れを有益に遣ふ爲めである事を、充分に心に植ゑ付け、金錢は又我が心を豐富にし、人格を高める爲に、必要なものと、肯かせたいのであります。

□金錢の遣ひ方も難し

かうして幼兒から金錢に對す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る高潔な思想の養はれて居る者は、成人の後、今日の社會に多く見る富を得て其の靈を失ふやうな慘事は行はれず、大國民としての精神を愈よ發揮するに足るものとなりませう。今日我が國は列强の戰禍に惱めるに似ず却つて貿易は好況を呈し、國內は正貨の流入に豐かに賑つて居ります。そして婦人は洋傘の柄に迄ダイヤモンドを嵌め込むといふやうな贅澤が忽ち行はれ、男子は放縱な生活を營んで、酒色に溺れて、わが心身を傷ふのみならず、妻や子を精神的に殺しつゝある不祥事が、至る所に行はれて居ります。僅か斗りの金に、日本の遠き憂を釀するならば、災もこれに過ぎたるはありません。もしこれ等の人々に、千圓持てば、千圓の主人たるに足り、萬圓持てば、之れを遣ふに足る人格が養はれて居つたならば、我が國家は今や精神的にも隆々として發展する折でありませうに、誠に惜しい事であります。世界の富豪カーネギーが、今日學者卓見者等を集めて、「如何にして我が富を用ふべきか」に就て、研究しつゝある事は、眞に人の知る處でありますが、富豪の爲すべき事を爲して居ると云はねばなりません。日本も假令少し斗りの富にしても、今や世界的の地位にある國柄として、白耳義に露國に其の他交戰國に、進んで之れを投じて助けなければならぬ仕事が多々あります。加之國內に於ても教育に社會事業に、藝術に宗教に、大に富力を須つべきものがあるを思へば、徒らに一身一家、一國を腐蝕さすやうな浪費は爲し得べき筈ではないと思ひます。之れを見て金錢の遣ひ方の如何に難いかを思ふ者は、次代の國民に幼兒から其の教養を施すことに務めたいものであります。

（三四子）

時事週評

□中川校長の辭職　女子高等師範學校長中川謙次郎氏は、突如老齡の故を以て、辭職せられました。氏は目下一切の面會を謝絶して、多くを語らぬ處より、其の心事を知るに由ない事でありますが、この良教育家を、漸く多事ならんとする我が女子教育界より失ふは大なる損失を覺えざるを得ません。氏の人格の最も得難く覺ゆる處は、實に公平無私、一意專心其の職務に誠忠を致されたる點であります。されば單に女子高等師範學校の發展を圖られたるのみならず、實に我が婦人界全體の進歩發達を心より喜ばれました。本誌が昨夏氏より思ひも掛けぬ獎勵を受けたる由は、當時の紙上に記した處でありますが、其の文言は實に微々たる編者の力をも認めて、我が婦人界の爲めに盡瘁する勞を犒はれたる温情溢るゝものであつた事は、永く忘るゝ事が出來ませぬ。氏は今や教育界を退かれますが此處に注がれたる赤誠は、永く我が婦人界の發達によつて、記念さるゝでありませう。

□珍らしい村長と村會議員　府下落台村の村長さして、かの旅順の戰ひに明を失ひ、盲目勇士の名を得たる山岡中佐が擧げられました。又府下の高田村では文學博士澤柳政太郎氏、法學博士浮田和民氏、休職大佐笠木悌次郎氏が村會議員に當選しました。一小村の爲めに堂々たる學者、政治家、其の他知識階級の者が出馬するに至つたのは、實に喜ばしい現象で、此處に模範の一小村の出來る事は、全國に取つて尠なからぬ好い影響を齎らすでありませう。

□獨逸の飛行機實用時代　獨逸首都よりハンブルグ迄千七百六十四哩の航路を、一晝夜にして、三百人を乘せ得るに足る飛行機が往來するやうになつたさうであります。いまだに墜落時代に居る我が航空界は、この驚くべき飛行機の事業を何と見るでありませう。此處にも亦婦人子供も其の費えを節して大に助くべき事業があるではございませんか。

□高等女學校長會議　別項時事欄に記載せる如く、今秋開かるべき高等女學校長會議は其議題が著しく積極的に赴いて居るのは喜ばしい事であります。高等女學校の程度を高める事、實業學校を設け、大學の門戸を開放する事等幸ひに良結果を見んことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才の家系（上）

我が古代の天才に就て

文學博士　井上哲次郎

口素質遺傳と感化遺傳

英のフランシス、ゴルトンの名著「天才と遺傳」には、歐米の詩人、文學者、科學者中傑出した人々の家系を掲げて、天才は偶然に出づるものではなく、因つて來る血統により、一團を爲して現はれるものである事を實例によつて證明して居る。然し印度以東の人物に就ては、一つもこれに掲げられてないのを遺憾とし、東洋殊に日本と支那との天才に就て研究して見た處が、何れもよくゴルトンの說を證明して餘りあるものがあつた。

私は遺傳を個人の生理的心理的遺傳即ち素質遺傳と、家庭の父母兄弟師友社會の狀態等の境遇から享けるもの即ち感化遺傳との二方面から考へて見たいと思ふ。

口聖德太子は皇室の血統

先づ我が古代に傑出した人を擧げて見れば、聖德太子、傳敎大師、弘法大師、法然上人、親鸞上人、日蓮上人の六人と菅公を數へたいと思ふ。

聖德太子は用明天皇の皇子で畏くも皇室の血統を受けて居られる。我が皇室には、代々傑出した方々が輩出して居られる事は、國民の知れる處である。太子は聰明叡智にして、學才にも秀でさせ給ひ、我が國に於て初めて著述をされた方である。又十八人の訴へを同時に聞かれて之れを裁判されたといふので、豐耳太子とも申したのである。

口傳敎と弘法

傳敎大師の祖先は韓の孝獻帝の子孫の登萬王が、應神天皇の時代に、我が近江の三津に住んだのに初つて居る。大師の父は三津百枝と云つた。弘法大師は古代我が社會に勢力があつた大伴氏の子孫で、俗姓は佐伯と稱し、景行天皇の御代に日本武尊に從つて東夷征伐に向ひ、勳功あり、讃岐に地を賜つて住つたに初まつて居る。性聰慧、漢籍に就ての蘊畜は、他の大師上人等の遠く及ばざる處である。これは弘法の母方の父が阿刀大足と云ふ學者であつたので、幼少から其の學業上に感化を受ける事が多かつたのであると思はれる。一人の弘法を出したる讃岐は、其の感化遺傳によつて、更らに其の地方に多くの大師を出して居る。

口法然、親鸞、日蓮

法然上人は作州稻岡の士、父は漆間時國と云ひ、剛膽の餘り人を輕しめたと見え、敵に襲はれて、法然が九歲の時殺された。當時法然は幼少ながら屛風の後ろから矢を放つて、敵の額に當てた。敵は其の負傷の爲めに人前に出づるを憚り生涯日陰の生活を送つたと云ふ事である。父は敵に傷られて臨終に迫つたにも拘らず、我が子に出家するやうにと遺言した。かくして佛門に歸依し、淨土の一派を開くに至つたのが、法然上人である。

親鸞上人は、母は分らぬが、父は藤原鎌足公より十八世の孫である。藤原家は中臣氏の出にして、其の一門は實に代々人才を出して居る。

日蓮は、自らは旃陀羅の子なりと云つて居る。旃陀羅とは印

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

度にて獣を屠殺する低い階級に屬する處から、日蓮の敵は上人は穢多の子であつたとも云ふがこは自ら身分を卑下した言葉で實は曾祖は藤原氏にして、遠州貫名に住し、俗姓を貫名氏と呼ぶに至つた。祖父の時代に房州に移つて漁を職としたので上人は卑しい身分と云はれたのであつた。

□菅公の血統と其母

菅公は王朝時代に於ける最も傑出した漢學者であつた。然し信仰は寧ろ佛教にあつたと思はれる。祖先は野見宿彌である。野見宿彌は相撲の祖先とのみ思はれるが、一方に於ては仁慈の念深く、かの殉死の悲慘なる風俗を防がん爲めに、土偶を以てこれに代へんことを建議した最

四

初の人である。その子孫に菅公の出たのは、決して偶然ではない。其の曾祖父は、儒者で、行ひを以て世に表はれ、大學守に任ぜられ、文章博士を授けられた。祖父も亦同様の名聲を擔ひ遣唐使となつて支那に行つた。其の子にして菅公の父なる人は是善と云ひ、同じく大學守に任ぜられ、文章博士を授けられた菅公はこの世々學者の家に優良な素質遺傳を受けたのみでなく實に家庭教育として、立派な感化遺傳を受けて人となり、才氣頴發、十一歳にして詩を賦したものが、菅家文藻に掲げられてある。母方も亦立派な血統で、其の出は大伴氏であつた。菅公の母は、歌に巧みで、三十一文字を以て、屢々我が子を激勵した。

久方の月の柱も折るばかり
家の風をも吹かせてしがな

などはその一つである。

（大日本學術協會第一回講演會に於ける「天才と遺傳」の講演中より）

應接間の五分間（七）

海老名みや子夫人

朝鮮婦人の友情を懷しむ

▲卯の花が暗夜の軒に眞白く匂ふ六月十二日の夜、朝鮮の李王殿下が入京された、一昨年の夏朝鮮から滿洲へ遊ばれた海老名彈正氏の夫人みや子樣は、思ひ深げにその日の思ひ出を物語られる。

私達が京城の南大門へ下車すると幾百人の鮮人の方々がお出迎へ下すつてゐました。道をへだてて右側には女の一團左側には男の一團がゐましたが、女の方のみでも何百人に上りましたでせう。私達はその間を通らねばならなかつたのでございますが、私は唯會釋して通るのも其の厚意に對して味氣ないし、と言つてその大勢の方々に一々御挨拶する譯にもいかないので困つてゐる方に相談すると會釋した丈で宜いでせうと仰有います。でさうして行かうとすると、鮮人の婦人達は競つて私の右手を握り、お振りになる。又一方では左の手をもとつて握るといふやうに人なつこく、一寸無遠慮に思はれるほど打ち解けたものでございました。けれど、』と言葉を切り、

▲『滯在中に親しくお接しゝて見てゐますと非常に厳格な所があつて、日本の封建時代の婦人の面影を髣髴させるものがございます。そして家庭に於ける婦人の位置は殆ど盲從で、それを美徳としてゐます。彼地の家庭では男は妻以外に公然と妾を貯へてゐます。そして男達は、妻と言ふものは親の爲めに、一家の爲めに迎へるもので、男が眞に夫婦としての温かい愛情を感ずるのは妾にである。妻は唯、家のつきものとして、家庭の内事を司る大切な人としてゐる、と言つてゐます。此樣な状態であるから、新らしい教育をうけ、少しづゝ自覺した婦人達はそれは眞實でない、間違つてゐる、と非常に苦しみ、悶えてゐられました。』など婦人の自覺圏に入り、日本の現代もまたさうした域から幾らも隔たらぬ過渡期にあるから、共に淸らかな、純な生活に進むやう努力したいとお結びになるのであつた。夫人は明治維新の志士横井小楠氏の愛嬢であられる。林町のお宅は森のやうに木立が深い。その青葉を見守りつゝ『昌徳宮へ行つて見た時に黄鳥と言ふ鶯に似た鳥が、澄んだ、美しい聲で囀つてゐました』など、も仰有つて居た。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の先生の印象（二）

優しく眞面目な
算術の教授

愛日小學校

今秋は小學女教員大會が開催されると言ふことである。女教師が小供の教育に適不適と言ふ議論は別として、私は此處しばらく市内各區の小學校を廻つて、突き當りばつたりに女の先生の教授振りを拝見して、その印象記を書くことにした。

▲愛日尋常小學校へ行つたのは毛のやうな小雨のしと〳〵と煙るある土曜日であつた。朝からうすら眠く、頭の重苦しい日である。九時から十時までの算術を見る。四年生女子部の生徒であつた。教室は階段を上り際の二階の部屋、青葉の森などを眼下に見おろす見晴らしの宜い所である。眞赤なでしこの花などがテーブルの上の花瓶に挿してあつた。授業はもう始まつてゐた。生徒は無邪氣な顔を上げて、驚いたやうに、ボールドの方にその視線を注いでゐる。其處には先生が算術の問題を書いてゐらしつた。$\frac{805}{100}+\frac{7}{10}$ 割り算なのである。

▲先生は生徒がはじめる前に『之れをするには二つの方法があつた筈ですが、如何な方法でしたかね。答へられる方。』と、お尋ねなさる。勢ひよく、或ひは疑はしさうに半分ばかりの生徒が手を上げた。先生は苦しさうに微笑なすつて、『たつた夫れだけ。あとの方はもうお忘れですの』など、言ひそしてある一人の生徒をおさしになつた。生徒は立ち上つて、『その儘で致しますのと、兩方の零をとつてするのとの二つの仕方がございます。』と答へる。先生は解つたやうな、分らないやうな呆けたお顔をなすつて、『さうでしたね。此のまゝでするのと、零をとつてするのとの二つの方法があつたのですが、零をとつて、ぢや一方の方を 805 とし、もう一方の方を 7 とするのですか。』と仰有る。先生の言葉に耳を傾けてゐたらしい生徒が噴き出して笑つて手を上げると、何のことだか分らないやうにぼんやりしてゐた生徒までがついて笑ふ。一人の生徒が、『兩方の零を同じ數だけとります。』と言ふ。何故？と先生がお訊ねになると、『零は幾つあつても同じことでございますから、割り算をする前に、とつて了つても數にかはりはないから御座ます。』と言ふ。間際まで來て、もう一言を言はない。

▲先生はやがて、『宜しい。では訊きますが、10の零をとつて1としても數にかはりはないでせうか、よく考へて御覽なさい。10の零をとつて了ふと1となりますね。十と一とは大變な違ひでせう。また、100の零をとると1になりますね。百と一とは之れも大變な違ひですね、ぢや、零は幾つあつても同じだとは言はれませんのね。又零をとつても數にかはりはないとも言はれませんね。どうしたものでしたかつけ。』と仰有る。一人も答へる生徒はゐない。その理由は十歲や十一歲の幼ない子供の頭にはまだ六ケ敷い事らしい。先生は成程と言ふやうに諾いて、

『之れは少し六ケ敷いけれど一生懸命に覺えるのですよ。同じ數だけ兩方の零をとると言ふのは、割り算をする前に、同じ數で兩方を割る事であります。兩方の零を一つとるのは十で割ることであるし、二つとるのは百で割ることになります。お解りになりましたか。』と仰有る、先生は二十二三かと見えるやうな若々しい方、お姉樣らしい態度で優しく生徒に向ひ、解るまで手をとつて導くといつた樣子である。其處には教へてやると言ふやうな、所謂先生ぶる高飛車な嫌味な所はない。と言つて生徒がつけ上る隙もない。何處までも優しく、眞面目である。師範の二部を出た方である。『今日は嫌に生徒がぼんやりしてゐて、お恥しうございます。』と、後で私に詫びるやうに仰有るのであつた。（卜子）

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の依賴心

有らゆる不幸の母

服部他助

□突發する事件の備へ

婦人の頭上に落ちて來る不幸の大多數は兼ねてより其の心の奥に培養されてゐる依賴心に原因すると云ふ事は事實である。依賴すべからざる事柄を、然かも依賴すべからざる他人に依賴するが故に、失望を招き、悲觀に陷り、終には救助し得べからざる自暴自棄の深淵に墜落して沈溺するものさへ少くない。此の波風荒き世に生存する限りは如何に軟弱なる婦人でも、自ら豫期しなかつた意外の事が、意外の經路を通つて、意外な時に突發するものである事丈けは、平常から覺悟して居らねばならぬ。自分一身の上に落ちて來る總ての苦痛丈けは、平然自ら之れを受け、又た之れを忍ぶ位の決心が無ければならぬ。何となれば、自分の上に落ちて來る苦痛は、實際自分以外の者が、之れを受くべきものでなく、又受け得べきものではない。

□己が手のみ拭ひ得る涙

佛蘭西のギゾーは「世界の至る所―假令外から見て如何にも樂しく見える家庭の中にも―人には必ず自己の手以外では、決して拭ひ去る事の出來ぬ涙がある」と云ふてゐる。一家の主婦にして、此のギゾーの云ふた言葉の眞意を了解し、「樂しき家庭の中にも自己の手以外では拭ひ去る事の出來ぬ涙がある」事を悟り、沈默の中に此の種の涙を己が手を以て秘密に拭ひ去つたならば、其の家庭の幸福は必ず數倍、否な數十倍に增加するであらう。婦人が餘りに依賴心強く、他人の負ふ重荷を力の及ぶ限り、輕くしてやらねばならぬ此の世界に生存しながら、自力で運ぶべき己のが輕い荷物さへ他人の手に依賴する婦人が少なく無い。自分の手を以て口に運ぶべき己のが食物さへ、他人の手に依賴するが爲め、其の精神上餓死する婦人が誠に我が國に多い。己のが目に浮ぶ涙を、自分の手で拭ふ事を爲さず、之れを他人の手にて拭ひ去らんとするが故に、不平と、失望と、悲哀の奴隸となり、終には大なる不幸を自他に釀すに至るのである。

□寂寞と孤獨

抑も寂寞と孤獨とは、人生の根本に於ける眞の狀態であると云はねばならぬ。全くの孤獨で此の世へ生れ出た人間は、又た全く孤獨で此の世を去らねばならぬ。己のが唯一の賴みとしてゐる父母や、夫や、兄弟や、朋友には何時か別れねばならぬ時が來る。不治の病氣に罹つて、病苦に惱まされて一生を送らねばならぬ事もある。家運傾き、一朝にして貧苦の逆境に追ひ込まるゝ事もあるのは、何人も覺悟して居らねばならぬ。死期が迫つては、永年己のが唯一の命の綱と思うて賴りとしてゐた兩親も、夫も、兄弟も、朋友も、之れを救ふの力は無い。將に病死せんとしてゐる最愛兒を看護する慈母は幾度も幾度も「出來得る事なら自分が身代りになつてやり度い」とまで、思ひが迫つても、切なる慈母の此の思ひは終に叶はず、愛兒は抱きしめてゐる慈母の兩手から拔け出でる樣に離れて、淋しさうに暗い死の旅へ唯々獨りで立ち出でてしまう。到底人は各自に孤獨とならざるを得ぬ。寂寞は之れ人生の眞の狀態である事を忘れてはな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らぬ。而して人は此の絶對なる寂寞に孤立し得るに至つて、初めて天地間の大眞理に接觸する事が出來る。

我が國の婦人は餘りに依賴心が強いと思ふ。依賴すべからざる自己の精神上の事すら、依賴すべからざる他人の判斷に依賴して決定する婦人さへ少く無い　身體の營養物は、自分の胃に依つてのみ消化し得る事を忘れたる婦人が少く無いと思はれる。今日我が國で婦人に高い位地を與へぬ男子は元より誤つてゐる、然し男子をして斯く誤たしむる原因又た無しとする事は斷じて出來ぬ。

又女子は單に女子である以外に貴い智と情と意とを具備した、人間である事丈は女子自らが忘れてはならぬ。此の繁雜なる世に在る限りは我等は日に幾度か自反と默想とに依つて、エマソンの云うた通り「市井の喧囂、奸謗の裡を脫し寂寞に入つて眞人間に立ち還へらねばならぬ。」

いろ／＼の社會（九）
玩具人形の生れくる世界

▲歐洲の戰亂が始まつてから俄かに人形が洋行するやうになつた。その年額は何程ぐらゐなのか判然と分らないけれど、クリスマスを見込んで、濠洲に、米國に、南洋に、可成り手廣く散ばつて行く。之れまで獨逸が一手に扱つてゐた地域を、戰爭の爲めに日本人がうばつたのである。私はその洋行する人形の生れる所を見にいつた。

▲私の見に行つたのは本所の二葉町であつた。割下水を間に挾んで南北に分れた街である。小路々々には小さな家が、低い軒を並らべてゐた。私はさうした軒下を通つていく。工場はさうした家の間にあつた。工場と言つても大して大きな建物ではなく、ほんの一寸した長屋である。鴨居などはうすぎたなく煤けてゐた。職工は板の間で働いてゐる。二三十人ばかりの男女が入り交つて、外見もせずにせつせと手を動かしてゐた。

▲作つてゐるのはピンクの短かいネルの洋服を着た、セルロイドの西洋人形であつた。腹を押すと日本のキイ／＼人形のやうに、可愛い聲を立てゝキイ／＼と泣く仕組みになつてゐる。頭は雪帽の下から金髮の卷毛がのぞいてゐた。注文をうけて日本の港を立つ時は、一つが五十錢づゝするのだとか、彼地へ渡つてからは、もつと／＼高價なものとなるであらう。女工達は眼まぐるしいやうに指を動かして着物を着付けてゐる。男工は傍らで大きな板になつたセルロイドを前に伸べて、顏を打ちぬいたり。鋸屑をねつて胴や足などを作つたりしてゐた。殆ど一室で、ごつちやになつてしてゐる。鋸屑をねる藥の香が鼻をつく。

▲私の見たのは斯うした工場であつたが、本所から深川邊をブラ／＼と歩んでゐると、小さい裏店に二三人、或は四五人と近所の器用なお神さん達が集つてかうした人形屋から材料をもつて來ては作つてゐる。仕事になれて來ると一日に十二三ダースから十五ダースは作れるとか。一ダース三錢五厘位の工賃なさうである。この人形の腹に入れるキイ／＼と鳴る笛は、葉書でつゝまれてゐる。葉書でなければ巧くいかないさうである。歸へり際に玄關の戸棚を見ると、大小の美しい人形が四五十個並べてあつた。美しい人形は上段の宜い所に並らんでゐる。私はフト、お人形の社會は各自の身分を行儀よく正直に守つてゐる、と思つて面白い心がした。（民子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生のどん底より 起き返つた

――「一日の苦勞は一日にて足れり」の信念にて――

林たか子女史

※※昔から強いものとされた男の腕を以つてしても、二人三人の子供を教育することは可成り困難なことであると聞く。であるのに、何等の資產もない一人の可弱い女の腕一つで、兎も角も五人の子女を教育しつゝある婦人がある。ある時は僅かに二十錢の授業料を思ひ惱んで、一夜まんじりとも眠られなかつたこともある。また幾日となく雨のしと／＼と降りつゞく日は、明日のお米に困つて、幼ない子供達のあどけなき寢顏を見守りながら熱き心を淚で泣き濡れられた事もある。かうした日每夜每はつゞいたけれど、大勇猛心を起して一度も折れることなく、遂ひに十五年間、悽壯なる奮闘の生活を送られたのである。今は青山女學院を卒業された長女の方は良緣あつて牧師に嫁し、亞米利加のロスアンゼルス街に教へをひろめてゐられる。次女は青山女學院に、三女は日本女子大學の附屬女學校に、長男の方は早稻田大學の政治科に、次男は青山學院におの／＼通學させて、その勉强に沒頭しつゝある姿を見て苦しんだ甲斐ありしと莞爾と笑み破れてゐられる。婦人の名は林たか子、八年前から府下池袋に住んでゐられる。生家は長野市の舊家、二十四代三百四十餘年つゞいた曾つては資產四十萬圓もあつた家柄で、宮內省の御用達をもされてゐた事があつた。

林たか子刀自

※※私が池袋のお宅をお訪ねしたとき、夫人は折よく御在宅であつた。少しも飾り氣のない、一見女丈夫と思はする小太りの方である。

「私の生家が相當に暮して居りましたので、人生のドン底に落ちた時は、そのドン底の生活そのものを營むことが既に非常な努力だつたのでございます。けれども私は五人の子供をかゝへて居りますので、今此處で自分の上に何事か起つては、直ちに子供を路頭に迷はさねばならない。それは私には到底堪へ得ない苦痛である。と思つて、働き出したのでございます。でも子供がまだ此の先きどう變化するのか分らないのに兎や角言ふのは心苦しいのでございますが、』と謙遜しながら靜かに物語られたのは斯うであつた。

八

※※夫人は幼き日を夢のやうに送り、花恥かしきうら若き日に養女として他家を繼がれた。が、後に迎へられた養子――夫人の良人――と養父母との折合ひ惡しく、その間に立つて幾年か淚の日を送られたが、故あつて良人と共に生家に入り、生家を繼がれることゝなつた。幾十萬の資產をうけ繼がれた二人は、まことに幸福なるべき筈であつたが、その幸福はやがて來らんとする不幸の生涯の第一歩であつたのを誰が豫知し得やう。この

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二人は都に上つて父の業を助けられる事となつた。
「都へ來たのが既に失敗の原因でした。」と、夫人が仰有るやうに、都に上られると良人は金の廻るにまかせて相場に手を出された。運命の惡戯は之れから初つた。相場は大暴落に大暴落を重ね、あせればあせられるほど惡くなつて、さしもの財産も見る間に蕩盡する。京橋にあつた店も、神田にあつた家も、之れのみはと思はれてゐた赤坂の別宅も人手に渡つたのである。そして夫人は父から離れた不幸な子供を抱へて奮鬪の生涯に入られたのである。

＊＊

「私は三度、お恥しいけれど自分で自分の身を殺さうと致しました。が幸ひに悉く人に助けられて、漸く死を覺悟して働くならば如何なことでもなし得ると思ふやうになりました。かう覺悟してからは、さう勝れて丈夫と言ふほどでなかつた體も次第に働きに堪へるやうになり、勞働と言ふ勞働はあらゆることをして參りました。或る時は女土方の群に交つてエンヤラヤと叫んだこともございます。男の土方に交つて車力を引いたこともございます。眞夜中の辻々をオデンの屋臺店を引つ張つて歩いたこともございます。そして晝間外で働けば夜は人樣の裁縫物をさせて頂き、夜働けば晝間他家さまの仕立物をしますので、よくあなたは何時お眠りになりますの、と近所の方に訊ねられたこともありました。自分の着物などは着換へがなかつたので夜寢る前に洗つて干しておき、夜風に乾かして朝着たものでございます。で若しも乾かなかつた日には赤裸でゐなければならないと言ふ騷ぎでございますから、衿は必ず裏の方へくけつけないで、唯ブワ〳〵させて厚味のないやうにして居りました。また子供達は學校へ行つて大勢の人達に交るのでございますから、出來るだけ周圍の人に不快の念をお與へしないやうに、隨分苦しみました。と申して着換への着物をさう幾枚も作る餘裕はないので、小ざつぱりした單衣の上つ張を二枚づゝ作つて間に合せてゐました。私は如何に苦しい日にも親戚の力を借ずに自分の手一つで、どうにか子供を教育しながら今日まで過して參つたのでございます。昔の日を返へすよすがはないにしてもせめて子供には一生を眞正面に見る眼だけをでも養つて置いてやりたいと存じまして――。」と夫人は仰有るのであつた。そして「私は今日まで、「明日のことを思ひ煩ふ勿れ、一日の苦勞は一日にて足れり。」と言ふ聖書の中の一句を唯一の信條にして、その日〳〵を最善の努力で送りました。」とお添になつた。全く夫人の今日までの生涯は瞬時も無意味な時なく、燃るやうな母の愛情で押通されたのである。

「私にもし子供がなかつたら恐らく出來なかつたらうと思ひます。」とも仰有つてゐた。全く强い方である。地球の眞中に根ざしてゐる大木のやうな、そんな力强い感じさへ湧く。其處には、汲んでも汲んでもつきぬ愛の淸水が、生命の泉が流れてゐる。

昔ほどお子樣方に手がかゝらなくなつたので、此の春からは郵船會社の婦人客監督になつてタコマ行きの汽船に乘り、海上生活を營まれることになつた。その他に小學校の教科書の取つぎをもなすつてゐるので、長男の方が、

「お母樣、他に職業もあるとですから、どうぞお船だけはお止し下さい。」と懇願なさるけれど、

「人間は丈夫な間は境遇の許す限り、社會に必要なことを働かねばならない。」と言つて、おつゞけなすつて居るさうである。

お花がお好きなので、池袋のお宅の庭には、この一家を祝福するやうに野バラの花が美しく咲いてゐた。（I子）

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童と貯金

果して奬勵すべきか否か

親の爲すべき事

麹町小學校長　土川　五郎

前號に薄田斬雲氏の述べられた貯金に對するお考へは、至極私共と其感想を同じくして居る點がある。一體貯金は兒童には適しないと思ふ。第一に貯金を爲すには、豫定以上の收入のあつた場合に爲すのを除けば、節約といふ事がなければならぬ。節約といふ事は二つ見るのを一つにするとか、三つ開くのを二つにするとか、又は何か爲す事を止めるといふのでなければならぬ。さうすると若し家庭で貯金をなさしむる兒童の思想の上に、何時も一種の制肘を受けて居る事になるから、何事にも思ひ切つた事は出來ぬ。いぢけた思想になるのが常體である。

又娯樂や仕事の節約とか中止とかを誤らずに爲すのには、割合に複雜な知識と判斷とを要する譯であるが、小學兒童に之れの要求が出來得るであらうか、望みある將來を持つ兒童を害するやうな事はないでせうか。

元氣旺盛な兒童、あらゆる方面に自分の活力を發揮しつゝ知らず識らず自己の身體を練り、知識を獲得し、經驗を積み、向上發展の基を作りつゝある積極的な其兒童に、全く相反して居る所の此の消極的作業、判斷に苦しむ場合多き此の節約、精神を萎縮せしめ易く、且つ品性を卑しからしめ易き此貯金を、何の必要があつて兒童になさしめるのであらうか。兒童の實際を見ると學校で貯金を奬勵すると、兒童は必ず親に若干を請求する、親に貯金の用に供すべき金錢をねだつては、貯金の本質を了解しないで、却つて卑しい根性が出る。學校で「貯金を爲して居るもの」と尋ねると、手を擧げぬものは一人もない、併し實際は貯金せぬものも隨分あるのに、人前がある、先生に對しても何となく變であるので手をあげる。虚榮の萠芽はそこで培養されるから、教師の此の發問には注意を要するのである。

學校で直接に兒童貯金を扱つて居る所は、東京市では稀であるが、特殊な貧民の子弟を扱つて居る學校は別として、普通の所で致して居るのは、其意味を了解するのに苦しむのである。學校では勿論、經濟思想を養はねばならぬ。貯蓄心の基礎は培養せねばならぬ。其方法としては、智的方面もあり、又實行方面も兒童の境遇に適應したる手段も幾らもある。紙や鉛筆雜記帳の使用法だけでも、單に節約の事のみでなく、其判斷に關する知識も機會も與ふる事が出來て、經濟思想の基礎が出來得るのである。

要は貯金は兒童を益するものでなく貯金は親のすべきものである。

無駄の無い　家庭生活が手本

淺田みか子

子供に勤儉貯蓄を教へるのは誠に結構ですが、學校で著しく奬勵する必要はあるかどうかと思はれます。それよりもこれは家庭でやるべき性質のものです。一錢二錢のお金を貯金しても、家庭で色々の所に無駄の多い生活を子供に見せて置いては何の役にもなりません。それに學校で奬勵するものは、暫くして其の奬勵が止めば、子供一人では中々に永く續かないやうです。

家庭に依つては、月に五十錢位ゐのお金を與へて、これで子供自身に自分の物を調へさせ、其の中の幾分かを貯金するやうになさるお宅もあるやうですが、子供はお金があれば、必ず使つて了ひます。そして買物にしても、無駄の物も買つたり、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

品質の惡い物も知らずに買つて來て、其のお金を一つも有効に用ひずに終る事もあります。それで私共では子供には一切お金を持たせない事にして居ります。必要のある場合は品物でこれを與へると云ふ方針をとつて居りますから、勿論郵便貯金も致させては居りません。纔かな貯金を奬めますよりは、ノートは始めから終り迄使はなければならないもの、習字の時には半紙を粗末に用ふるなと敎へながら、家庭は其の模範となつて目に見える物質上の事から、時間、勞力の如き目に見えないものに至る迄で、浪費を省いた無駄のない生活振りを子供に實際に見せて行つた方が遙かに有効であると思ひます。斯くして根本的に勤儉の何物なるかを子供に敎へる事が出來たならば、自由に金錢を取り扱ふ事の出來、獨立した時期になつても、必らず無駄にこれを費す事は無からうと思はれます。

家庭教育の不備を補ふ爲に

泰明小學校長　高橋　鐵藏

本校では兒童に貯金をさせてゐます。その起りは、日露戰爭の時に當校の敎職員各自が月給の幾分かを以つて、軍事公債に應募したことからであります。そして戰爭が終つても引きつゞき月給の百分の二を郵便貯金にすることにしてゐます。中には百分の二以上をしてゐるものもあります。斯うしてゐる内に戊申の詔勅が下りましたので、詔勅の意を奉戴し、兒童達に無駄遣ひをさせないやうに、貯金をさせることに致しました。尤も之れは任意なので、するしないは生徒の自由です。唯五厘のお錢でも一錢のお金でも、無駄に遣はずに他日有用の時に出すやうに貯へて置くと言ふ習慣を養ひたいと思つたからなのであります。

かうして幼い間から勤儉貯蓄の習慣をつけて置けば、何時かそれに芽が出、枝が繁つて國力を富强にすゝめることも出來るだらうと思ふのです。元來貯金は家庭ですべき性質のものながら、まだ家庭敎育に不備の多い今日は之れを學校で補ふ必要があります。當校の生徒は毎五の日の出張貯金で、切手で貯けて居ります。强制的にしてはゐないけれど、大正四年度末には一千百四十餘人の生徒中、三百五十人が貯金して居り、金額は千三百六十八圓二十四錢に上り、大正五年度末には人員三百五十一名金額一千六百七十七圓三十錢に上つてゐます。要するに幼い時から貯蓄の習慣をつけたい爲めにさせて居ります。

獨立心養成の爲めに

小石川幼稚園長　ミス、クライン

貯金と云ふ事は子供に一種の獨立心を養ふ爲めに有力の方法であると思ひます。私は日本の風習に就て深くは存じませんが、西洋から申す事は出來ませんが、亞米利加では中流家庭の子供になりますと、七九歳の時から一週間に二十五錢乃至五十錢のお金を與へられます。これは唯無意味に與へるのでなく、自分の部屋のお掃除であるとか、よくお母さんのお手傳ひをしたとか云ふ其の勞力に對する報酬で、週間によつて氣持ちよく働かなかつた時には其の報酬を減される事もあります。子供はこの金で凡て自分の手まはりの物を求め、毎日一錢二錢のお金を兩親にせがむやうの事はありません。

又寄宿舍等に居る學生は若干の送金を受けますと、細かく小遣帳を認めて、來月送金前に之を父母の處に送ります。父母は其の要途を見て次のお金を送金し、無駄に費して居る時は、幾分を減す事もございます、斯云ふやうに世間一般がなつて居りますから、從つて子供に貯金させると云ふ事を奬勵するやうになつて居ります。中でも貧民の子供などは、別に勞力に對する報酬と云ふ譯ではありませんが、私共が救濟事業に從つて居つた頃には一週間に一片宛を與へて居りました。これ等は出來る丈無駄にさせない爲めに貯金させました。

日本では毎週定つて子供にお金を與へると云ふ事は少ないやうですから、强て貯金を奬める事は出來ませんが、八九歳頃になると、時には兄姉や其の他の

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人々から多少のお小遣ひを與へられる事もありませう。そんな時につまらなく費せなくて貯金させたらばいゝと思ひます。學校で奬勵する事は大切ですが、家庭で迷惑を感ずる迄の干渉は不必要で、これは主として其の家々に依つて都合のいゝ制度を作り度いと存じます。然し餘り成長して迄も、一々欲しいものを父母に向つて要求するのは非。常に獨立心を傷けますから、其の邊の手心を家庭では充分注意しなければなりません。

手拭地の夏布團

丸洗ひが出來る

圖は掻巻き代りの輕い手拭ひ地の夏布團です。在來の日本の布團は主に綿の澤山這入つた大きいものでございますから、持ち運びに不便であるばかりでなく、洗濯の如きも遂ひ臆劫になる處から、餘程手のまはる家庭でも一年に一度、或は二年に一度の洗濯が精々でございます。これは其の不便さを除く爲めに工夫され、夏季用の布團には好適のものと思はれますから、其の作り方を御紹介致します。

先づ普通の布團の如く、手拭地を四布(布數は適宜に)宛縫ひ合せ、背又は脇を(裏返すのに便利だけ)開けて置き、木線綿を一と通か二通り(成る可く薄く)敷いて裏返します。普通はこれは所々を綴ぢる丈けですが、これは白の木綿糸を以つて、布團一パイに、圖に示した通り青海波唐草つなぎ、水模樣の如き好みの模樣を細かく、表てから裏に通してヅブヅブと縫ひ最後に衿をかけて仕上げます。汚れた時には丸のまゝで洗濯して生乾きの中にアイロンをかければよろしうございます。一と夏の中に幾度洗濯しても、縫ひ模樣で綿は細かく綴ぢ付けられて居りますから決して綿の崩れる心配はありません。縫ひ模樣によつてはどんなにでも新しい氣持のいゝものをも作る事が出來ます。

さまざまの綴ぢ縫ひ見本

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季綠草をもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に產せる純良、風味卓逸、心地よき黃金色の最上バタを試みられよ

定價 半斤 金五十五錢 壹斤 金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二號

十二 問と答

問 夏になると兎角髪が臭くなりますので、第一自分にも不快ですし、電車などに乘つた場合にも、人樣にお氣の毒でなりませんが、髪の臭みを簡單に消す方法は有りますまいか。(巣鴨 愛讀婦人)

答 それには、出來得る限り屢々髪を洗ふことが肝腎です。あまり刺戟性の石鹸などを用ひないで、クラブ洗粉で垢や埃をさらりと洗ひ落して了ふのです。洗つた後は散らし髪にして、餘り強くない日光を受けるやうにして、それからクラブ香油のやうな上等の髪油を、少し附けるのが一番宜敷い。クラブキニーネ香水を頭の生地に擦り込むのも、雲脂を防ぎ頭を涼しくし、且つ爽かな香りを添へて快感を與へるに、最も有効な方法です。

問 クラブ美身クリームを白粉下として使ふには、何うすればよろしいか、お伺ひ申します。(上州新婚の妻)

答 先づクラブ洗粉でよくお洗ひになつてから、クラブ美身クリームを指先に取つてよ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昨今の果物の貯へ方

某洋人コック

都も果物店の賑ふ期節になりました。美しい色、甘い滴りは誰れしも好む處でございませう。後園に豊かに實つたものなどを、永く保存するにはどうしたらよいでせうか。此處にどなたでも出來る方法を、御紹介申し上げませう。

□ピーチ、バター これは果物を洗つて、ひた〳〵に付く位ゐの水の中に入れ、餘り強くない火に掛けて、暫らく煮詰めて裏漉します。(裏漉が面倒なれば山葵下しで下してもよい)そして果物一合に對して、砂糖一合の割合に加へ、五六合の果物ならば、三四十分煮れば宜しい。杏子、ぼたんやきう等は一番甘味うがございます。これをガラス器の中に入れて直下にパラピンを垂らし込むか、或は其の他の方法で空氣を絶つて置けば、何時迄でも保存させる事が出來ます。

□オレンジ、マメレート 夏蜜柑を種子を除つて、皮のまゝ薄く切つて一晩水に付けて置きます。朝になりますと、酸氣が水に全然出て居りますから、これを笊に上げ、少し水氣が切れた處で少量の水を加へ、文火で一時間ばかり煮ます。更に蜜柑一斤に對して一斤の砂糖を加へ、三四十分煮て程よい加減になつた時瓶に入れて空氣を絶ちます。

□カレンズ、ゼリー カレンズは莖の付いて居るまゝ少量の水を加へて三十分程煮ます。軟くなつた處で、裏漉なし、これをネルで作つた袋の中に入れて、吊るしながら氣長に他の器具に垂らし、漉し終りましたらば、同量の砂糖を加へて三四十分間煮るのです。これに用ふる砂糖は緩め火の上で少し温めてから用ひた方が宜しうございます。煮上つたものはガラス器の如き物に入れて、一日位ゐ置くと寒天の寄物のやうに固ります。葡萄などを斯う致したのも至極結構です。

□櫻ん坊の壜詰 これは蔕を取らない方が却つて面白うございます。先づ水一升に就て砂糖二合を入れ、櫻ん坊は丁度これに浸る位ゐを程度として ざつと煮ます。煮て居る間に泡が立ちますから、これを全然除り去り、煮沸て居る中に壜に詰め汁を充分あふれる位ゐ入れます。壜の中に泡が浮いて居ない樣に注意し、壜に栓をして空氣を絶ちます。軟かい果物でしたらば、生のまゝ先に壜に詰め、前と同じ割合の砂糖水を沸して置いて其の壜の中に注ぎ込み、蓋をして三時間ばかり熱湯で蒸しますと充分に煮えて、且つ果物のくづれる事はございません。壜詰の方法はまだ外にもありますが之が一番手輕に出來る方法です。

子供の智慧

□背中のエレベーター

文治郎(四つ)が、おんぶからする〳〵と下りながら、「エレベーター」から降りるやうだと申しました。—東京八重子

□どちらが偉い

松子が「私のお祖父さんは偉いのよ。神樣のおつしやる事がなんでもわかるんですもの。神主なんですもの」と云ひますと、雪子さんが負けない氣になつて、「カンヌシと四字ぢやあないの。私のお祖父さんはシユウギインギイン(衆議院議員)と九字もあるわ。だから私のお祖父さんはあなたのお祖父樣より偉いのよ」と指を折つて數へました。—伊豆にてよし子

く塗込み、柔かいタオルの類で輕く拭取り、其上にクラブの粉白粉なり刷白粉なりをお附になれば、高尚で床しく美しいお化粧が出來上ります。

問 若葉の頃になりますと、毎年私は面皰が盛んに出來て困るのですが、適當な手當法がありましたら御教示に預りたいと存じます。(盛岡清水いつ子)

答 面皰の盛んに出來るのは若い男女に多く、殊に黴菌の爲す業ですから、充分手當をするに越した事はありませんが外國製の面皰藥もありますが概して硫黃が交つて居ますので、體質の異る日本人には却つて害になる場合があります。試みに脂肪の多い婦人が硫黃氣のある温泉に入ると、皮脂腺は直に硬化して黒くなり、押しても搔いても容易に除れぬ面皰となる例も尠くないのです。それ故平常注意して、日に二度位クラブ洗粉を使つて微温湯で顔を洗、其後へクラ乳液ブ身美又はクラブ美身ゼリーを塗込でおく樣になさるのが、一番安全です。

十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒 (四)

デビッドの旅(中)

琴子

其の晩、父さんとデビッドは、靜かに流れて居る、谷川の側で野宿しました。デビッドはピカ、ピカ目ばたきをして居るやうな星とお話しながら、何時の間にか眠つてしまひました。

次の日、二人は、目を醒すと直ぐ、又、旅を續けました。

父さんは

「別に入り用な物は、は入つてないから。」と言つて、此度は、カバンを持つて行きませんでした。草が深くかぶさつて居る穴の中へ隱したまゝ、出かけました。

ぽッつり、ぽッつり歩いて、居ましたが、間もなく森を通りぬけて明るい道へ出ました。

そして、お日の入り頃には、廣い、畑や、野原の中の大きな道へ出ました。そこは、もう、人通りがあるらしく、車のあとなどが、ついて居ました。で、デビッドにも、里が近くなつた事が解りました。

今まで、元氣のよかつた、デビッドも、默つて歩いて居ました。そして、たゞ、もう、父さんの樣子が氣になつて、ジッと氣を付けて見て居ました。

父さんは、せつせと、夢中になつて、歩るいては居りますが如何にも苦しさうな息をついて足も、よろ〳〵して居ました。

デビッドが、二度も話しかけましても、返事も出來ないほどになつて居ました。デビッドにはどうしたのやら、一向解りませんが、何だか、變んな氣持ちになつて來ました。

デビッドは初めて、心配と言ふ事を知つたのでした。

二人の通つて居る道を、たまには人が通つて居ましたが誰一人、この二人をふりかへる者もありませんでした。

丁度、誰も通つて居ない時でした、不意に、父さんが、何かにつまづいたのか、どつと、道傍に倒れました。

デビッドは驚いて、飛んで行きました。

「どうしたの！父さん！どうしたの？」

返事がありませんでした。

「父―さん！僕ですよ、デビッドですよ！」

やつと、父さんは、苦しさうに起き直つて、坐りました。そして暫く、デビッドの顏を見て居ましたが、顫へる手を、ポッケットに入れて、時計と、小さい寫眞入れと、取り出して、デビッドに渡しました。

それから、又澤山の金貨を地面へほうり出しました。

「と……ひろつてお置き。か…かくしてお置き。い……いまに入る時があるよ。」

「お出で！サアお出で！己れはもう行けない。」

「僕一人で行くの？　いや、僕父さんの側に居るんだ。」

父さんは、苦しさうに頭をふりながら、又お金を指して

「デビッドや…。取つてお置き」

と言ひました。

デビッドは、言はれるまゝにお金をひろつては、ポッケットに入れて居ました。丁度、皆拾つてしまつた時に、荷馬車を引いた男が通りかゝりました。そして、不思議さうに二人の樣子を幾度も、幾度もふりかへつて、見て居ました。

その男が、行き過ぎると、父さんは、又ポッケットから、何か出しました。此度は、鉛筆と手帳でした。紙を破つて、たい儀さうに、何か書き初めました

デビッドは、ジッと、父さんを見て居ました。そして、「どうしたんだろう」と考へて居ました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あたりはだん〳〵に、暮れて行きます。デビッド達は、行く處もなく、食べる物もありません。

デビッドは、ふと、山の家の事を思ひ出しました。

あそこは、まだ、きつと日が照つてるにちがひない。空はバラ色だろうか、「銀の池」はどんなだろう、山の上から見ると、下の村は、繪のやうに見えるけれども、來て見ればこんな、薄暗いいやな處だ。など考へると暫くは、お腹の空いた事も、疲れた事も、父さんの事も忘れてたまらなく、山の上がなつかしくなるのでした。

不思議な泉

これはほんとうの事です。記者が確かに見たことなのです。皆さん御存じの富士山の麓に御殿場といふ所があるでせう。停車場の東十數町の處に、或る方が夏の家を建てられました。記者もその方に招かれて、或夏の幾日かを此處に過しました。涼しい閑靜なよい處ですが、惜しい事に水がありません。一村に僅か山から引いた一つの泉がある計りで、朝晩十町もある處に水を汲みに行かねばなりませんでした。すると一昨年の夏可成り劇しい地震がありました。その時

私の招かれた家の門近くの地に割れ目が出來て、ぶく〳〵と水が溢れて來ました此の家の老婦人は嘗て鑛山事業等の經驗があつたので、これはきつと泉が湧くからと、其の割れ目を突き掘らかせますと其處等中浮き上るかとばかり、水が湧き出て來ました。程近くの池に水のはけ口を作つて一間位の泉の口を作つて置きました。氷のやうに冷たいこの水が飲み水にならば幸ひと、水の試驗して貰ひますと思ひ掛けなくも、ラヂユウムを含んで居る事が分りました。そして早速靈泉として役場にも屆けを出し、今では界隈での名物になつて居ります。

世界の子守唄

（一）スコットランド

靜かにおし、
波が押し寄せて來てゐるんだよ眞白い
泡を立て、
父さまはその騷々しい中でお働きなすつてゐる
けれど坊やは、お家で寢るのだよ。

靜かにおし、
天氣が變になつたよ。
風が吹く、風が吹く、
兄さんは迷つてゐる羊を探しにいらしつた
けれど坊やは、お家で眠るのだよ。

（二）イタリー

お眠り、可愛い子供よ！
私の可愛い子供。
お前のお母さんはお前を見守つてゐる―
お前は母さまの愛と喜びなのだよ。

新舊衝突物語（十七）

暦と天氣豫報

近藤浩一路

主人が旅立といふ其前夜、姑は暦をひらいて其吉凶を入念に調べすこしでも凶とあれば頻りに見合せる事を主張するのに嫁は只新聞の天氣豫報だけを見てたゞ〳〵其晴雨を氣遣ふ。

十五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草（五）

茅野雅子

十六

『あの三好から參りましたが、お宅の奥樣がおつしやいます、今日は歸途に一寸四條の方へ廻りたいから遲くなるかもしれまへんよつて、御召のコートを出して頂いて來いとのことでございます。それからお子樣方にも御飯を先きにおすませになるやうにとのお言傳でございます。』

　四十恰好の薄汚ない風をした男が、お久の家の玄關へ來て斯ういふ口上を述べたのは、もう師走も半ば近い或日の午後四時頃のことであつた。丁度女中の松が居なかつたので其口上を聞き取つたのは姪の勝江であつた。

『お祖母さん。お叔母さんの御召のコートつて何處にあるんでせう。』

『さあ私は知らないがね、今朝出る時何だかコートのやうなものを着てゐたやうだつたがね。』

『さう？それはあの羅紗のぢやないの。御召ののつをつて云つてゐるから。』

　六疊の隣の三疊に四五日前から開けた炬燵に入つてぽつぽつほどき物をしてゐたお民は、最う正月も間近い此頃に、一家の主婦が斯うやうて一日家をあけて出歩るいてゐるやうでは困る。たとへ旅の生活で何もかも簡單であるとは云ふものゝ、あんな風に家のことは皆んな女中任せに許りしてはならない。第一家の中心とも云ふ可き主婦が家にゐるとゐないとでは、經濟等でも何れ丈け違ふかわからない。そんなことを、細々と思廻してゐた矢先きのことで、使の口上を聞いて厭な心持がした。

『何をしに何處へ行くのか知らないが、遠い處ぢやあ無し、二三町の處だ、時分時にはなるし子供達と一所に御飯でも食べてからゆけばよいぢやあないか。』

　それだけのことを心の中では云つたけれども、勝江の手前もあり、兎に角口へ出しては何にも言はず、珍らしく自分で玄關へ出て見た。

『あゝ三好さんからのお使ですか。御苦勞でしたね。それであの何方へ行くやうに申してゐましたのですか。』

『はい、あのねつから存じまへんが。』

　その男はお民の顏を見た時から變に落付かないやうな所が見えて居たが、頻りに門の外を氣にする樣で早口につけ加へた。

『何や大變急いといやすやうでした。』

『いま女中がゐないのでよく解らないから』と云はうとしたお民は、はつと氣がついて默つて了つた。嫁のコート一つさへある所が知れないといふのは自分の威厳にも係はることのやうに思へたのであつた。

『一寸待つてゐて下さい。』

　それだけ云つてお民はお久の室へ入つた。自分のものや健次のものは勿論、子供のもの一つでも姑や姪の手を煩らはさないやうにして、何かの用は女中に手傳はせるといふのがお久のやり口であつた。其處の押入にある簞笥の抽斗を皆な開けて見ても解らなかつたお民と勝江は、健次の書齋の方にある洋服簞笥をあけて見た。その鍵を探出すのにでも、可なりの時間がかかつた。

　其處へ女中の松が子供達と一所に歸つて來た。

『松、叔母さんの御召のコートは』

　顏を見るなり勝江に斯う聞きかけられて、松はけげんな顏をしてゐた。『一體何うなさるんです。』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二人が簞笥の中の物を皆な其庭へ引出してゐるのを見て松は思はず咎めるやうな口調で斯う聞き返した。

『何うしたつてよいぢや無いか私達がどぬしやうと云んぢやなし。』

お民は腹が立つて來た。女中迄が斯う自分達を他人扱にしてゐる。私は此家の母ぢやないか一番の權力者である筈ぢやないか。左樣いふ心がお民の腹にあつたのである、

澁々と松が押入の方から出して來たコートを風呂敷に包むで玄關へ持つて出た時には、最前の男はもう見えなかつた。

『變だねえ。』

皆が玄關へ出て來た。內玄關の方も見た。

『さう云へば私が歸つて來た時には誰か此處に立つてゐたやうでしたがねえ。お孃さん。』

『いゝえ、私が後から門を入つて來た時は誰もゐやへなんだえあさうさう誰や知らんあの時走つて出て行つたえ。』

奎子の言葉に皆な顔を見合せた。

『まあよかつた。最う少しでコートを一つ騙られる所だつたね。これも本當に神信心の御陰だよ。』

成田さんへお燈明をあげたりしてから、お民と勝江は其處へ曳ずり出されたお久の着物や羽織長襦袢の類を引操り返して見てゐた。

『これはねえ、岩井さんの叔父さんが獨逸からママちやんに買つて來て下さつたの』

奎子がさう云つてオペラバック等を取出すと、八重子の方も負けずに半襟の箱などを抽きだしの中から取出した。中にはお民や勝江の眼に觸れたことのないものも少なくは無かつた。田舍に住むでゐた二人の眼には贅澤に見えるものが多かつた。それ等のものを一々元の所へ入れ作らお民は勝江の持つてゐる衣裳のこと等を考へて、この母のない孫のことをいと惜しく思つた。嫁入前だといふ勝江には未だ立派な丸帶一つさへないのであつた。

お久が歸つて來てこの話を聞いた時、その下手な騙に最う少しでかゝらうとした危なさを思ふより、簞笥をあけられたことを堪らなく不快に思つた。

『私の御召のコートが餘程氣に入つたと見えるわね。勝江さん。』

お久は强ひて笑に紛らした。

『ほんとうに浮々家を開けてはゐられない。』

『さうですよ。』

お民の簡單な言葉が重く響いた。お久には姑の心持がすつかり解つたやうに思へて眼の中が暗くなつた。

新刊紹介

□女性の心理（文學士倉部顯宜氏著）

本書は氏が奈良女子高等師範學校教授たりし時、文部省の依囑を以て、同校に開催せられた夏期講習會に於て、女性の心理一席さ題して講演したる講義の原稿を訂正したものであるさ申します。婦人問題の漸く勃興せる今日、婦人自身が先づ己のが心理を知つて、自覺し、見識を高むるやうにさの著者の熱望より、成るべく平易に書きなされて、廣く一般婦人の讀むに便ならしめてあるのは、嬉しいことです。內容は緒論さして、第一章は心理學の發達や、女性心理の研究法、及び主なる參考書を掲げ、第二章には、男女の有機的差異を述べてあります。本論は第一篇知識篇、第二篇情緒篇第三篇意志篇さして、詳說してあり、終りに結論さして婦人の自覺を促して居ります。其の所說はエリス、メムソン、トーマス等の女性研究者の說に據つて、編成されて居りますが、女性研究の著書が少い我が現在の社會には今後の日本婦人の心理を研究する上に、指針を與へらるゝ事が多からうさ思ひます。婦人自身がこの書を繙けば、必ず鏡に映じた己のが姿を見るが如く、明瞭に自らの心理を客觀視する事が出來て、長所を延ばし、短所を補ふ化粧の術もこれから初まり、必ず美しい教養の實を擧ぐる事が出來やうさぞんじます。（定價壹圓六十錢小石川櫻木町六北文社）

夏期講習會

ミシン刺繡科
ミシン裁縫科

自八月一日至八月二十一日使用機械有限
急至申込あれ（規則進呈）

東京有樂町一ノ五
シンガー裁縫院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□掃立ての御式　皇后陛下には五月二日御養蠶所の御座所に於て、和久産巣日神、大宜部比賣神の二柱の靈の神樣を祭り掃立ての御式を擧げさせられました。

□小松大妃三年祭　來る二十六日は故小松宮大妃頼子殿下第三年祭當日につき、淺草橋場なる同宮家及豐島ヶ岡墓所にては、御靈前祭及御墓前祭を行はせられ尚來七月十七日は閑院宮季子女王殿下第三年祭につき、同じく御祭典を行はせられます。

□恭子女王御歸嫁　伏見若宮博恭王第一王女恭子女王殿下（伏見元帥宮御孫）は舊藝州廣島藩主麝香間祗候從一位勳一等侯爵淺野長勳氏令孫長武氏（二三）（淺野長之氏長男）御歸嫁の儀は八日勅許あらせられました。殿下は本年御歳二十歳にならせられ、昨年三月學習院女學部御卒業。淺野長武氏は帝國大學にて史學を研鑽中であります。

□李王殿下御着　既報の通り李王殿下には八日京城を發せられ御順路を經て十二日午後五時東京に御着あらせられました。尚ほ殿下には十三日は御休養遊ばされ、今十四日御參內の御都合なりと承ります。

◉駐支米公使の警告　駐支米國公使ラインシュ氏は本國政府の訓令を奉じ、支那政府に對して南北分裂の不可を指摘し、時局に就き友誼的警告を發しました然し今次米國が爲せる對支警告は、其の結果に於て明かに一種の內政干渉なりとて、我政府はこれが說明を米國政府に向つて要求して居ります。

◉淸室復辟反對通告　淸皇室は最近復辟論が盛んに稱へられて居ります爲八日前攝政王醇親王始め、王侯大臣八名の皇室會議を開き、左の理由に依り若し復辟を迫らるゝとも必ず應ぜざる旨を決議し九日徐世昌に通告致しました。

一、宣統尚幼なる事
二、復辟運動は南北分裂の恐ある事
三、復辟運動者の內には袁世凱を皇帝に推せる者あり淸室は却つて遺憾に思ふ事

◉露國陸軍幹部更迭　アレキシーフ大元帥は辭職し、アルシロフ將軍は其後任として大元帥となり、第十一軍司令官たるグットル將軍はアルシロフ將軍の後を襲ひました。アレキシーフ將軍の辭職は軍事上の理由にあらず、寧ろ政治上の理由であると申します。アルシロフ及びグットル兩將軍はアレキシーフ將軍に比し大に民主的の人物なりとして指目せられて居ります。

◉中米大地震　サルヴアトア國首府サン、サンヴアドア市に七日強震が起り、市民六萬人の負傷者を見るに至り、爲めに其の他の六市も破壞せられしと傳へられます。

◉飛行機で旅客の大輸送　近く外電の報ずる處によれば、獨逸首府より漢堡君府間にツエッペリン飛行船を以つて旅客運輸を開始した由です。其航程千七百六十四哩にして、途中に十一箇所の繫留所を定め經費は四千萬克を要せりと傳へられます。ツエッペリンの最大のものは人員三百人は樂々と運搬する事が出來、首府より漢堡君府間は一晝夜で飛行し得らるゝと申します。

◉婦人の市會議員　五日敖賓發の電報によりますと、露領ハバロフスク市は新政府の施設が最も早く且つ秩序的に行はれ、率先して婦人の參政權を許し、今回の市會議員改選には三名の婦人議員が選出されたさいふことです。

◉露國の山火事　ミンスクに於ける森林に大火起り七千英町を燒き、サラトフに於て三百ブッシエルの小麥烏有に歸しました原因は放火の由です。

◉奉送迎を簡素に　去一日地方長官に御陪食を仰せ付けられ、一同宮中に會同したるを機とし波多野宮相は同長官等に對し、天皇皇后兩陛下東宮殿下を初め皇族殿下の地方行幸啓、又は御成の場合に於ける奉送迎其他の事項に關しては勉めて官民の勞苦を輕減し、專ら簡素を旨とすべき趣旨を以て、從來關係各府縣に對し訓諭致しました。然し其實蹟に徹するに、今尚其趣旨の洽く徹底せざるものあるやの感あるは甚だ遺憾の至りなりとて、宮相は深く聖旨の存する處を考察し、大小公私の施設各其宜しきを得しめんことを期すべき旨、訓示する處がありました。

◉波多野宮相の陞爵　天皇陛下には五日午前十一時宮中鳳凰の間に波多野宮內大臣を召され左の通り爵記親授式を行はせられました。

從二位勳一等男爵　波多野敬直
敍勳功特陞授子爵

◉帝室技藝員任命　帝室技藝員は年來缺員の數を增し、昨今は實に十數名の缺員を見るに至りました。故に夫々後任を詮衡中の處、愈十一日左の諸氏の新任發表がありました。

從五位勳六等　寺崎廣業（繪畫）
從六位　小堀鞆音（同上）
從六位　川合芳三郎（同上）
正七位　下村晴三郎（同上）
正七位　富岡百鍊（同上京都）
正七位　山元金右衛門（同上京都）
勳七等　新海竹太郎（彫刻）
伊東陶山（陶器京都）
諏訪好武（陶器）
平田宗幸（鍛金）
佐々木岩次郎（建築）

◉阪田公使の赴任　阪田西班牙公使は、愈よ十一日午前八時半東京驛發にて出發、途中京都、大阪及九州に立寄り十九日下關發廿日釜山驛發、西比利亞線經由赴任の筈でありますが、家族は同伴致しません。

◉直轄校長更迭　東京女子高等師範學校長中川謙二郎氏は老齡の故を以て辭職し、後任に東京音樂學校長湯原元一氏榮轉し、東京音樂學校長には文部省督學官茨木淸次郎氏任命の事に八日閣議に於て決定いたしました。

◉日本一の飛行場　從來陸軍演習地として居た岐阜縣各務ヶ原に新飛行場を建設し、十日その開場式が行はれました。同所は廣百二十萬坪の平坦地で南方は廣い濃尾の大沃野に續き、　は中

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山道を隔て丶伊吹の連山を望み飛行場としては最も理想的の場所であると申します。

◉全國の方言調べ　文部省の國語調査會では我國々語の統一を計る目的から、小中學校教科書用として漢字辭典と、方言と標準語辭典を編纂することに決して東京高等師範學校教授保科孝一氏は其の主任に任ぜられました。國語統一の事業は最も至難の仕事であつて、又最も重要の仕事であります。これが完全に成就された曉には、旅行其の他の便利も少なくないと思はれます。

◉全國女學校長會議　女高師校長を始め都下女子教育界の有力者が發起となりて、戰後の女子教育問題に就て來る十一月上旬東京で全國女學校長會議を開く事になりました。其の研究問題は左の如であります。

一、高女の修業年限は五ヶ年を本則とする事。
一、大學を開放してもらう事
一、男子と同様に高等學校をつくる事。
一、男子に農學校、徒弟學校がある如く、女子にも實業學校をつくる事。

◉結婚改良會成る　府立第一高女教頭市川源三氏は今回理學博士山内繁雄、文學士阿部文夫氏等と共に「大日本優生會」なるものを組織しました。先づ其の第一着手として日本現在の結婚に就て大に調査する處あり、其の改良法をも社會に提出すべく近く協議會を開く筈であります。先づ偉人天才を出す事、低能者及び不良少年少女を社會に出さゞる事、疾病者の結婚を防ぐ事の三ヶ條に就て、學術、實際の兩面より研究し、遺傳現象の調査には最も重きを置いて攻考し、優生學の開祖ゴルトン誕生の二月十六日を以て毎年の定時總會を開く由、なほ會員組織となし、會員間の結婚調査に應ずるとの事。事務所は小石川大塚宮下町七市川氏方。

◉近松巢林子建碑除幕式　女義界の花形豐竹昇菊、昇之助等發起の下に赤坂一つ木町淨土寺内に巢林子近松門左衛門翁の頌德碑が建設されました。これが除幕及び開眼式は十一日午後一時より同寺の中庭に建てられ、高さ九尺の自然石であると申します。

◉三千年前の完全な白骨發掘　京都大學の濱田助教授等は古代遺跡調査の目的を以つて、去る二日から大阪府下道明寺村字惣庄小字骨地を發掘中、地下數尺の處から約三千年を經た白骨二體を掘り出しました。各膝を屈して仰臥の姿勢を取り頭より足の指頭まで一片も不足した處がない實に完全のものであると傳へられます。

◉京濱電車の大衝突　五日夜七時廿分頃府下大森町字谷戸宿一五四八先にて京濱電車の衝突があり、乘客卅六名中即死一名負傷者廿名を出しました。

◉中央大學全燒　十日午前二時四十分神田錦町なる中央大學燒失し、先年讓り受けたるビルクマイヤー博士の藏書を初め學長奥田義人氏の藏書等、再び得難き珍書が悉く烏有に歸したのは惜しみても尙餘りあることです。原因に就ては詳ではありませんが、放火らしいとの事であります。損害は約二十萬圓。

個人消息

△矢島楫子　目下關西九州地方旅行中の女史は本月中旬歸京の豫定。

△田中千代子（四郎左衛門夫人）　麴町區紀尾井町三番地に移轉せらる。

△杉田つる子（女醫）　十四日婦人矯風會本部に於て、衞生の講話をせらる。

編輯室より

▲五月雨の名に背かず、日々靜かな雨が降り續いて居ます。芽を出しかれて居た狹い庭の野菜や草花の種子は、軟かに打たれた土を破つて、すく〳〵と延び初めました。かうして纎弱い二葉が守られ育つた後、強い夏の日の來るときは、いかにも自然の親切な巧みを思はずには居られません。

▲「筆で書くより足で書く」と申す記者の訪問には、不自由でせうとも、五月雨もまた捨て難く思はれます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です、

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町　六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印　赤　白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す　（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語専門私立　櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科専門
大野醫院
（入院隨時）
院長　耳鼻咽喉科　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町　二三五七
東京至誠病院

新發見
クリーニング水
シミヌキ液
定價一瓶金廿五錢

當商會特製發賣の椿印クリーニング水は世間有り觸れたる從來の品とは全く其質を異にし當商會の技師長が多年歐米に於て實地研究せられたる苦心の結果發明したる無二の特效液にして其効力の偉大なること實に驚くべきものなり現に各國大公使館帝國ホテル等に於て愛用せられつゝあるのみならず内外朝野の貴顯紳士貴婦人向さして上中流社會の各家庭を通して一日も缺くべからざる常用品たるに俟て見るも如何に理想的にして且つ實際的クリーニン液たるかを證し得て餘りありといふべし

使用法　ブラシに着けて和洋服縮地等の汚みの局部を輕く摩擦すれば如何なる汚れも立所ろに拭消す如く無くなるべし、又絹其他の薄地のものには裏面より白き布片を當てゝ其上より摩擦すれば地質を損せず變色伸縮等の憂ひなし

注意　此液は火氣のある處にて取扱ふことは勿論平生も火氣ある處に決して置かぬ　御注意あり度し

東京麹町區有樂町一ノ四
製造發賣元　椿クリーニング商會
（電話新橋一九三番）

若し此液を用ても效果はしからぬ場合は御一報次第早速店員參上可仕又此帳に貼用の口紙御持參の方には一割引にてクリーニングの御注文に應じます

產科、婦人科、小兒科
女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京　二二三一番）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間　自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會東京部會。
一、講習主任　醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

弊店の特色

御召　織式　縞染
△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命に應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

皮膚科　内科　小兒科
芝區三田豊岡町五十三番地
女醫　松木勝

新女界

第九巻　第六號

六月號

一部十二錢　半年七十二錢　一年一圓四十錢

見本申込次第進呈

□婦人と讀書趣味……高島平三郎

主張
初夏の自然と此頃の婦人……
女學校の教育を如何にかしたい

□婦人と靜坐……岸本能武太
□兒童の養護……三田谷啓
□文野と今昔……高峯博
□一牧者一群羊……海老名彈正
□門の狐……廣田花崖
□醫學に志す人の爲めに……千田時次郎
□早教育と天才について……藤田逸男
□臺所經濟の話……海老名みや子
□お手輕料理……一記者
□書齋にて客と……吉野作造

東京小石川林町四三　新人社　振替東京一四〇〇五

發行所　東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社

御料

御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以て冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乗りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
御園の月
御園の花
御園撫子
御園紙白粉
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園歯磨
御園ルチゲン

本舖　伊東胡蝶園　發賣元　丸見屋商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA